

第21回天敵利用研究会奈良大会プログラム

日 時 2011年12月1日(木) 13:00～2日(金) 12:00
会 場 奈良ロイヤルホテル (奈良市法華寺町254)
主 催 天敵利用研究会

第1日目(12月1日)

受付開始 12:00

【開会】

13:00 あいさつ、事務連絡

【一般講演】

講演時間12分(1鈴10分、2鈴12分)、質疑3分(終鈴15分)
講演者は次の講演の座長を担当(1番と7番の講演の座長は事務局)

1 天敵を利用した農法と生物多様性の同時評価

13:10 上野高敏(九大・農・生防研)

2 植生管理による天敵利用の展望—天敵の放し飼いと行動制御

13:25 矢野栄二(近畿大学農学部)

3 ホソヒメヒラタアブ成虫の花粉利用:中腸内花粉量と種類

13:40 ○竹之山杏子・大野和朗・北原結花(宮崎大学)

4 アブラムシ類の甘露の糖成分がシヨクガタマバエ成虫の寿命と産卵に与える影響

13:55 ○渡部 宏・矢野栄二(近畿大学大学院 農学研究科 農業生産科学)

5 導入天敵コレマンアブラバチの野外への拡散と定着の可能性

14:10 中野昭雄(徳島県立農林水産総合技術支援センター農業研究所)

6 土着天敵タイリクヒメハナカメムシとギフアブラバチの色と光に対する反応

14:25 ○阿部成人・中野昭雄(徳島県立農林水産総合技術支援センター農業研究所)

(休憩15分)

シンポジウム「花き園芸における天敵利用の現状と展望」

座 長 八瀬順也(兵庫県農林水産技術総合センター)

【特別講演】講演時間25分(1鈴20分、2鈴23分)、質疑5分(終鈴30分)

S 1 天敵は花き産業に何をもたらすか

14:40 宇田 明(宇田花づくり研究所)

S 2 花き類栽培における天敵を利用したIPM技術

15:10 山中 聡(アリスライフサイエンス)

S 3 静岡県のガーベラ栽培におけるカブリダニ製剤を活用したIPMの現地実証

15:40 片山晴喜(静岡県病害虫防除所)

S 4 奈良県での土着天敵を活用したキクのハダニ類防除

16:10 ○国本佳範*・小山裕三**・印田清秀*・矢野栄二***(*奈良農総センター **奈良県北部農林 ***近畿大学農学部)

【総合討論】

16:40 特別講演者

座 長

出席者全員

【情報交換会】奈良ロイヤルホテル 2階 鳳凰の間

18:00

20:00

第2日目(11月20日)

【一般講演】講演時間12分(1鈴10分、2鈴12分)、質疑2分(終鈴12分)

- 7 土着天敵ヤマウチアシボトゲダニ雌成虫のハウレンソウケナガコナダニ捕食能力
9:00 ○齊籐美樹*・高久 元** (*道総研上川農試 **北海道教育大札幌校)
- 8 植物上への人工飼料の散布によるオオメカメシの定着性向上効果
9:15 ○五十嵐清晃*・野村昌史*・大井田寛** (*千葉大院・園 **千葉農林総研)
- 9 アブラバチ類を用いたバンカー法における二次寄生蜂の発生と防除への影響
9:30 長坂幸吉(農研機構 中央農業総合研究センター)
- 10 インセクタリープラントとしてのオクラの有効性
9:45 ○林 知毅*・大野和朗*・中野昭雄** (*宮崎大学農学部 **徳島農研)
- 11 なぜタイリクヒメハナカメシはオクラで個体群を維持できるのか？
10:00 ○山本 樹*・林 知毅*・大野和朗*・中野昭雄** (*宮崎大学農学部 **徳島農研)
- 12 九州南部における露地ピーマン圃場での土着天敵温存効果
10:15 ○大藪正史・松比良邦彦・井上栄明(鹿児島県農業開発総合センター)
- (休憩10分)
- 13 奈良県における土着天敵を利用した夏秋ナス栽培の取り組み
10:40 ○神川 諭・井村岳男(奈良県農業総合センター)
- 14 シロネギにおける土着天敵活用の可能性
10:55 ○増井伸一・土田祐大・片井祐介(静岡県農林技術研究所)
- 15 高知県嶺北地域の夏秋栽培におけるIPMの取り組み
11:10 山口説夫(高知県中央東農業振興センター 嶺北農業改良普及所)
- 16 施設ニラのネギアザミウマに対する有望天敵の探索
11:25 ○下元満喜*・古味一洋**・伊藤政雄*・安達鉄矢*・広瀬拓也* (*高知県農業技術センター **高知県環境)
- 17 ダニサラバフロアブルRのリングでのカブリダニ類に対する影響
11:40 ○森田孝延*・林直考*・谷川哲朗**・佐藤力郎*** (*大塚アグリテクノ **協友アグリ ***総合防除コンサ)

【閉会】

11:55